

シンポジウム | シンポジウム | [シンポジウム7] 若手歯科医師に伝えたい歯科訪問診療の必修事項

シンポジウム7

若手歯科医師に伝えたい歯科訪問診療の必修事項

座長：

古屋 純一（昭和大学 歯学部 口腔機能管理学部門）

小玉 剛（こだま歯科医院）

2023年6月18日(日) 08:20 ～ 10:20 第2会場 (3階 G303)

企画：在宅歯科医療委員会

【古屋 純一先生 略歴】

古屋純一（ふるや じゅんいち）

昭和大学歯学部 口腔健康管理学講座

口腔機能管理学部門 主任教授

【学歴・職歴】

1996年3月 東京医科歯科大学歯学部歯学科 卒業

2000年3月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科 高齢者歯科学専攻 修了

2005年8月 岩手医科大学歯学部歯科補綴学第一講座 助手

2008年4月 岩手医科大学歯学部歯科補綴学第一講座 講師

2010年4月 岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 有床義歯補綴学分野 准教授

2013年1月～2014年3月 Harvard School of Dental Medicine, Department of Restorative Dentistry and Biomaterials Sciences留学 Visiting Associate Professor

2014年4月 岩手医科大学歯学部 補綴・インプラント学講座 准教授

2015年5月 東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野 教授

2020年5月 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座 講師

2021年4月 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座 准教授

2023年4月 昭和大学歯学部 口腔健康管理学講座 口腔機能管理学部門 主任教授

【理事・評議員】

日本老年歯科医学会 理事・評議員（在宅歯科医療委員会委員長、ガイドライン委員会委員副委員長、社会保険委員会委員）

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員（編集委員会委員）

日本臨床栄養代謝学会 学術評議員

日本咀嚼学会 評議員（編集委員会委員）

日本補綴歯科学会 評議員（用語検討委員会委員）

【認定医・専門医】

日本老年歯科医学会専門医・指導医、日本老年歯科医学会摂食機能療法専門歯科医師

日本補綴歯科学会専門医・指導医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

【小玉 剛先生 略歴】

昭和58年3月 城西歯科大学（現・明海大学）歯学部 卒業

昭和60年3月 東京医科歯科大学歯学部専攻生 修了（口腔外科学）

昭和60年6月 こだま歯科医院 開設

平成元年3月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了（歯科理工学）歯学博士

平成3年4月～平成23年3月 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校講師（非常勤）

平成5年4月～平成9年3月 東京医科歯科大学歯学部講師（非常勤・第二理工学教室）
平成17年4月～平成28年3月 明治薬科大学 客員教授
平成25年6月～平成29年6月 一般社団法人 東京都東久留米市歯科医師会 会長
平成28年3月～ 公益社団法人 日本歯科医師会 常務理事
平成28年3月～令和3年6月 公益財団法人 8020推進財団 常務理事
令和3年6月～ 公益財団法人 8020推進財団 専務理事
令和4年11月 社会歯科学会 理事長

[SY7-2]アンケートから見る歯科訪問診療における各職種の悩みと要望

○玉田 泰嗣¹ (1. 長崎大学病院 義歯補綴治療室・嚥下障害治療センター)

【略歴】

2011年 岩手医科大学大学院歯学研究科博士課程 修了
岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座
2014年 米国ハーバード大学歯学部
Visiting Researcher and Instructor
2020年 長崎大学病院
特殊歯科総合治療部・摂食嚥下リハビリテーションセンター
2023年 長崎大学病院
義歯補綴治療室・嚥下障害治療センター

【抄録（Abstract）】

多職種が関わるチーム医療において、各々の職種における悩みと要望について互いに把握することは、チーム医療における孤立を防ぐと共に職種間の連携を深める一つの方法である。歯科訪問診療を行う歯科医療関係者および歯科訪問診療に関わる他職種は、何に悩み、何を不安に感じているのか。また、多様化する病態への対応を含め、どのように知識をアップデートしているのか。今回、歯科医療関係者および歯科訪問診療に携わる他職種の悩みと要望を把握することを目的として、会員および非会員を対象とした web アンケートを行い500名以上から回答を得た。

歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士を含む歯科医療関係者に対する複数選択可とした多肢選択式の設問と選択数上位の回答を下記に示す。

Q：歯科訪問診療を始める上で困難だったことや、これから始める上で困難と考えていることを選択してください。A：施設・多職種との連携構築＞制度に関する情報収集＞スタッフの確保＞ケアマネージャーや施設への提出書の作成

Q：歯科訪問診療における関連する情報の入手経路や知識のアップデートの方法を選択してください。A：書籍＞歯科関係者との個人的つながり＞日本老年歯科医学会の学術大会＝歯科医師会

Q：歯科訪問診療に関して、現在知りたいことを選んでください。A：全身疾患への対応＞摂食嚥下リハビリテーション＞食事指導・ミールラウンド＞緊急時の対応法

次に、看護師、言語聴覚士、介護福祉士を含む歯科関係者以外の職種に対する複数選択可とした多肢選択式の設問と選択数上位の回答を下記に示す。

Q：現在、あなたは歯科訪問診療にどのような形で関わっていますか。A：関わっていない＞診療時の立ち会いなどで現場に関わっている＞歯科訪問診療の要請や情報提供・連絡調整などを行っている＞歯科訪問診療の一員として直接的に携わっている

Q：歯科訪問診療に関わる上で困難と感じていることを選択してください。A：関わっていない＞患者の治療ニーズや口腔状態の把握＞診療後の注意点や日常的ケアに関する情報の把握＞歯科医療関係者との情報共有や連携構築＞患者やその家族との情報共有

Q：歯科訪問診療における関連する情報の入手経路や知識のアップデートの方法を選択してください。A：所属する職能団体からの情報＞その他＞歯科関係者との個人的つながり＝他職種との個人的つながり＞歯科関連団体（歯科医師会など）からの情報

上記に関する職業の経験年数別における回答、自由記載での設問とした歯科訪問診療を普及させるためのアイデアおよび本学会から発信してほしい情報についても紹介する。